

令和元年度豊田市子ども会議 子ども委員からの提案報告に対する各課コメント

令和元年度豊田市子ども会議のみなさん、各テーマについての提案をいただき、ありがとうございました。いただいた提案について、担当課より回答・コメントをさせていただきました。

1 テーマ①「高齢者事故を減らすためには」の提案に対するコメント

【提案内容1 高齢者向けの講習会について（提案報告書 P.6）】交通安全防犯課

★自治区ごとに高齢者向けの運転講習会を実施する（講習時にはVRを用いて体感してもらう）

担当課コメント：

豊田市では平成23年度から、市内の自動車学校において、高齢ドライバーに実際に運転をしてもらい、受講者が自身の運転技術を振り返りながら、交通安全意識を高める取組「シニアのための運転技術講習会」を実施しています。この講習会は、限られた人数によるものですので、ご提案内容にある愛知県警察と連携したVRを活用した講習会については、より多くの人に講習に参加してもらえる手法の一つとして有効だと考えます。

【提案内容2 交通機関の割引、特典について（提案報告書 P.7）】交通政策課

★高齢者専用バスをつくる

★バスの無料券やタクシーの割引券を配布する

★市バス利用時にICカードポイントがつくようにする

担当課コメント：

高齢者事故を減らすためには、確かに高齢者に公共交通機関をより身近に感じてもらい、免許返納をすることへの不安を解消してもらう必要があると思います。その一つのきっかけとなるような提案をたくさんいただきありがとうございます。

まず、様々な年代のバス利用者がある中、高齢者だけに限定したバスを走らせるのは難しいですが、高齢者にとって利用しやすいバスの環境を整えることは、非常に大切だと思います。また、コロナ禍におけるバスの運行については、換気やアルコール消毒を徹底し、高齢者を含むあらゆる方が安心して利用できるように対策をしています。

次に、バスの無料券やタクシーの割引券は、たくさんの費用が必要なため簡単ではありませんが、「まずは気軽にバスやタクシーに乗ってもらう」という視点はとても重要だと思います。

また、バス利用時にICカードにポイントが付くようにすると提案をしてくれているように、今後バスを使う度に特典が付くような制度を検討していければと思います。

高齢者に対して特典をつけるという点では、令和3年10月1日（金）から、豊田市に住んでいる70歳以上の方を対象とした高齢者向けの定期券を販売します。1か月3,000円だとよたおいでんバスが乗り放題になる定期券です。「孫効果で啓発」と提案してくれているように、ぜひご家族の皆さんにもおすすめしてみてください。

【提案内容3 移動販売の促進について（提案 P.8）】交通政策課

★中山間地域での移動販売においでんバスを利用する

担当課コメント：

「おいでんバスを使って移動販売」は非常におもしろいアイデアです。高齢者事故を減らすために、ヒトが移動するだけでなく、モノも移動させるという視点は大切だと思います。提案ありがとうございます。

ただし、おいでんバスは、お客さんを乗せて1日ずっと走りっぱなしなので、移動販売車としての併用は難しいかもしれないですね。

また、おいでんバスは車両が大きいので、移動販売車としては不向きな気がします。移動販売は、高齢者が歩いていけるよう自宅から近い距離（各集落の中心部など）まで行く必要がありますが、山間部は道路が狭いため、大きなおいでんバスでは行くことができません。

山間部での移動販売には小さな車両が向いており、実際に豊田市のあるお店では、小回りの軽く軽車両で移動販売を実施し、買い物先までの移動が不便な方々にも買い物の機会を提供しています。

このような取組が広まると、交通事故を減らす一つの要因になると思います。

2 テーマ②「子どもの居場所づくりについて」の提案に対するコメント

【提案内容1 公園について（自治区内の公園について）提案報告書 P.11】地域支援課

★公園でのイベントを企画する（その準備としてみんなで公園の掃除を行う）

★公園内を遊ぶ年齢によって分ける

担当課コメント：

・自治区では、公園を使って盆踊りや防災イベント、運動会やウオークラリーなどのイベントを開催しています。そのようなイベントの前には、地域の皆様に対してボランティアで草刈をお手伝いして下さる方を募集するのもいいですね。

・色々な人が訪れる公園は、地域の皆さんで交流できる場所でもあります。公園内を遊ぶ年齢によって分けるルールは決めず、お互い思いやりを持って場所を譲り合い、多様な世代の交流の場となると良いですね。

【提案内容2 交流館について（提案報告書 P.12）】市民活躍支援課

★ワークシェアリングにより、月曜日も開館する月をつくる

★交流館ごとに、学校や地域の行事予定に合わせて開館時間を調整する

担当課コメント：

素敵なお意見ありがとうございます。

より使いやすい交流館を目指していきますので、これからも様々なアイデアをお寄せください。

【提案内容3 放課後児童クラブについて（提案報告書 P.13）】次世代育成課

- ★支援員募集のため、YouTube 等で仕事内容紹介動画を配信する
- ★支援員の働き方の自由度を上げる（短時間勤務）
- ★ロボットや遊び道具の導入

担当課コメント：

色々な提案ありがとうございます。放課後児童クラブでの仕事内容を動画紹介することは、支援員として働くイメージが出来てとても良いなと思いました。また、ロボットを導入することで、支援員の負担を減らすアイデアも、コロナ禍で密を避ける視点でも良いと思います。実施にかかる費用のこともあるので、すぐに実現できるとはお答えできないですが、意見として参考にさせていただきますね。

高齢者や主婦の人たちが自分の都合の良い時間だけ働く仕組みを作るのも、良いアイデアだなと思いました。放課後児童クラブでは児童の安全を確保しつつ見守りを行うので、その日その日で来られる人が働くのは難しい面もありますが、なるべく色々な人が働きやすい職場にできるよう工夫していきたいと思います。

3 テーマ③「いじめに悩む子どもを助けるためには」の提案に対するコメント

【提案内容1 相談対応について（提案報告書 P.16）】学校教育課、次世代育成課

【提案内容2 SNS の利用方法について（提案報告書 P.17）】学校教育課

- ★学校での相談のしやすさの向上を図る

担当課コメント：

先生方をはじめ、スクールカウンセラーや心の相談員など、学校には相談に乗ってくれる人がいろいろいます。しかし、「相談したい」と言いにくい場合もあります。ときには、周りの人に知られたくない場合もあると思います。

そこで、豊田市では、みんなの学習用タブレットから「相談したい」と送信すると、相談したいとお願いした先生から声をかけてもらって相談できるシステムが始まります。このシステムは、学校ごとに工夫して取り組まれていますので、詳しくは学校の先生に聞いてください。

「相談する」ということは決してかっこ悪いことではありません。心が苦しくなってしまう前に、相談してください。

- ★ラインなどの SNS でも相談できるようにする

担当課コメント：

みなさんからの率直な意見を聞くことができうれしいです。固定電話がない家庭が多かったり、家族内のルールで電話をかけづらい子どもがいたりすることや、電話に慣れていない子どもも多いことから、SNS も含めて、より子どもが相談しやすい方法について検討していきたいなと思います。その中で SNS については、既に実施している他の自治体の状況を知り、ラインなどの SNS を利用した相談のメリットやデメリットを把握したうえで、実施するかどうか判断したいと思います。

4 テーマ④「とよたの魅力をPRするためには」の提案に対するコメント

【提案内容1 エコエコチャレンジ・SDG s チャレンジについて（提案報告書 P.21）】環境政策課

★エコエコチャレンジ・SDG s チャレンジの子ども版をつくる

担当課コメント：

ぜひ、いただいた提案を実現させたいと思いました。

幅広い世代に環境に配慮した行動を身に付けてもらいたいという思いから 90 日という期間を設定しましたが、少し期間が長すぎるのでは、という意見もありました。短期間で子どもがより取り組みやすい内容になっていれば、小学校の学習教材や家庭でのコミュニケーションツールとしても使ってもらえることができると思います。どれくらいの期間で、どのようなテーマでチャレンジ項目を設定するのか、などは一緒に考えることができるといいなと思います。

また、今は取り組みを達成した人にポイントを発行していますが、確かに子どもにはポイントを貯めるのが難しい仕組みになっています。提案いただいたチャレンジは子どもの取り組みになるので、筆記用具など子どもがもらってうれしいものがないと思います。景品として何がいいのかは一緒に考えることができるといいなと思います。

【提案内容2 作品の募集について（提案報告書 P.22）】市民活躍支援課

★とよたの魅力をテーマにした作品を交流館で募集する（集まったものを施設等で展示する）

担当課コメント：

とよたの魅力をPRするには、まず自分がその魅力に気づく必要があります。

そして、子どもだからこそ見つけれられる魅力がきっとあると思います。

現在一部の交流館では、住民の方による“とよたの魅力”を題材にした写真や絵画等の作品をロービーやイベントで展示しています。展示品は大人による製作物がほとんどですが、今後こどもの作品が増えるよう、募集の方法を見直してみたいと思います。

【提案内容3 品評会について（提案報告書 P.23）】農政企画課

★品評会を盛り上げるポスターを作成する

★品評会に合わせて“農作物の食べ比べ会”を開く

担当課コメント：

とよたの魅力の1つとして、農業に関心をもっていただき、ありがとうございます。

品評会については、市民の方に市内産の農産物をPRする意味を込めて、なるべく多くの人に見ていただける会場で実施しています。

現在も品評会の際に配る、「おいしい農産物の見分け方」や「市内で生産されている品種」などを書いたチラシは一部あるのですが、農産物の絵や興味を持ったことなどを書いたチラシやポスターをみなさんに作っていただければ、子どもやお父さん、お母さんにもより興味を持ってもらうことができ、とよたの農業の魅力がさらにPRできるのではないかと思います。

また、「農作物の食べ比べ会」については、コロナ禍となる前は品評会を見に来てくれた来場者の方々に試食してもらい、「消費者賞」を決めていました。コロナ禍が収まれば、消費者による審査も再開したいと考えているので、楽しみにしててください。

【提案内容4 学校の授業について（提案報告書 P.24）】学校教育課

★「自分の地域のいいところ見つけ」を授業の中で行う

担当課コメント：

授業の中で「自分の地域のいいところ見つけ」を行うことは、総合的な学習の時間をはじめ、あらゆる授業で取り上げて実践することが考えられるので、大変よいアイデアだと思いました。

また、市では、教育資源となる公共施設や市が行う事業等と学校の学習内容をつなげ、体験的に学び、考え、活動する教育プログラムの準備を始めています。小・中学校の9年間を通した学びのなかで、豊田市の魅力に気付き、誇りと愛情をもって、力強く未来を生き抜いていくことを目指しています。

この実践が実現するためには、子ども会議からの情報発信が大切だと思います。どのような方法で、どのような情報が発信できるか、子ども委員のみなさんの知恵を出し合っていてください。